KSKQ
京橋 おかげさま 通心
2021年 3月 12
『はたらく』 就労移行支援事業所 きょうばし
正真会
『くらす』 生活訓練施設 加光

見本手本に学ぶ
実るほど垂れるべきもの

管理者　寺村　肇

いつもお世話になり有難うございます。三寒四温の日々に、近づく春の訪れとコロナの終息を期待していましたが、今になって尚起きた先般の大震災の余震は、私たちに新たな示唆を与えてくれているのだと思います。

私たちは仕事柄、利用者さんの見本手本である事を強く意識します（意識しているはずです…）。〝意識する〟という言葉選びが既に逃げ口上とご指摘を受けそうですが、意識してもまた同じような過ちを繰り返す事実がもう片方にあるわけです。人の支援や教育に携わる職種は特に〝人の見本、手本たれ〟という言葉の意味を誤って理解しがちです。〝常に正しい存在でなければならない〟と自分の間違いを認めらなくなり、傲慢になり、自分が正しいのだという意味のない証明を繰り返してしまいます。誰かが諭してくれる状況があれば良いのですが、福祉施設や学校という閉鎖的な空間では、その歪んだ解釈を正当化する事は容易にできてしまいます。

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」詠み人不詳のこの諺に表されるのは、人の見本手本たるものの本質です。決しておごることなく、誰に対しても何に対しても常に誠実に学ぼうとする姿勢を、皆さんと共に持ち続けたいと思います。

とある会合で訪れた夜の区役所の窓口。人気のない受付の事務カウンターに飾られた手づくり作品に見つけたコトバ。一つ一つ丁寧に織り上げられた白鳥とその一つ一つに宿る想いにグッときちゃいました。

「はたらくについて考える会2021」報告

寺村 肇

去る２月６日に就労移行支援事業所きょうばしのOBOG会「Thyme」が主催する『はたらくについて考える会2021』を開催いたしました。沢山の方々のご参加やご支援をいただき、無事開催できましたことを、この場を借りてお礼申し上げます。また今年度は「公益財団法人　キリン福祉財団」様からのご支援を賜ることができました。全国的な活動を展開されている同団体様からのご支援をいただけたことは、本事業が社会的価値と可能性を持った活動であるという一つの承認につながったものと喜んでおります。

参加者全員で作り上げた空気感はとても温かく、大変素晴らしいものだったと思います。それは、参加者それぞれが自分自身の"はたらく"について真摯に向き合えた証だと確信しています。今後も本事業を継続していきたいと思いますので、皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

きょうばし OB・OG会

Thyme

きょうばし職員とThymeメンバーとの記念撮影

イベント情報

昨年は開催を断念しましたが、今年は感染症対策を万全にして開催いたしますので、ぜひ、お越しください！お待ちしております！

「加光」見学会のご案内

3月11日・25日(木)●10：40～12：00
（毎月第2・第4木曜日を予定）

TEL 06-6351-8668 ★ FAX 06-6351-3666
メール kakoh8668@shirt.ocn.ne.jp
HPのお問合せメールフォームからも可能です

「きょうばし」見学会のご案内

3月11日・25日(木)●10：00～12：00
（毎月第2・第4木曜日を予定）

TEL 06-6357-7007 ★ FAX 06-6357-6665
メール kyoubashi@kind.ocn.ne.jp
HPのお問合せメールフォームからも可能です

ひと
京橋の「魅力びと」紹介

京橋の"おばぁ"
5人席のお店から　アメリカ世の沖縄から京橋へ

昭和39年、生まれ故郷の沖縄県那覇市を離れ、山野愛子さんの美容専門学校へ通うためにパスポートとドルを持って着いたところ、それが京橋でした。当時はアメリカ統治が続いていた時代（アメリカ世）なので、沖縄から出るのも一苦労でした。美容業界へ進んだのは高校卒業後にメイキャップの美容師をしていたからで、無事免許を取ったのですが、そのまま専門学校の講師として残りました。その後に「水商売って儲かるのよ」という誘いがありまして、貸店舗を見に行きました。横の呑み屋から「あなたたち、若いからできるでしょ。やってみたら?」と言われまして、よくよく考えた末、5人しか座れないお店をやってみようということになったのです。開業直後は大阪弁がわからないこともあって前途多難、下を向いて泣くばかりの日々でした。それでも懸命に働いていたら、有難いことにいつも満席のお店になりました。美容学校の生徒がアルバイトとして入った後は更に繁盛し、別の場所で15人入れるお店をオープン。こうして事業が勢いよく軌道に乗り、店舗は更に二度の拡張となりました。この時分、昼間は美容学校の講師をしている傍ら、念願の美容室もオープン。その後は沖縄料理屋をやって、三線を演奏することも。今は小学校で沖縄での戦争体験の講演をして、戦争の悲惨さや命の尊さ、生きることへの意味などを子供たちに伝える機会を頂いています。このように、京橋は私の歴史が詰まった場所。庶民的な良い街です。誰もが安心して歩ける街として在り続けて欲しいと思います。

法人理念

誰もが人として暮らし、人としての喜びを感じられる社会を創造します。
人の歩みを共に慶び、共に学び続けます。

正真会は SDGsの項目で次の持続可能な開発目標を掲げています

3 すべての人に健康と福祉を　4 質の高い教育をみんなに　8 働きがいも経済成長も

■編集人■（毎月発行）
〒534-0024 大阪市都島区東野田町5-5-16
京橋おかげさま通心 編集委員会
電 話 06-6351-8668
■制作・協力■
NPO法人 チャレンジステージ
HP：www.challesta.com
■発行人■
関西障害者定期刊行物協会
大阪市天王寺区真田山町2-2　東興ビル4階
一九九一年九月三日　第三種郵便物承認　毎月（一・二・三・四・五・六・七・八の日）発行　定価五十円

3月 CHECK!

企業見学会
就労移行支援事業所 きょうばし 企業見学会

大阪市平野区
ヒグチ鋼管株式会社 様

https://www.higuchikoukan.co.jp/

チャレステコラム

「本気」で前進せよ

秋に泣き、冬に耐え、春に咲く三線の花

◆私のお気に入りの楽曲に、BEGINの「三線の花」があります。特に「秋に泣き、冬に耐え、春に咲く三線の花♪」というフレーズがすごく好きで、聴いていると自分の人生の中で秋や冬だった頃が思い出されると共に、春をイメージして満開の花を咲かせよう！と心が震え、底知れぬ元気と勇気が湧いてきます。苦労は「成長」の源です。それは夢を実現させる為には避けては通れないプロセスだと思いますし、仮に春がまだ遠く感じても、本気で向き合う事が必ず「成長」に繋がると確信しています。大事なことは「本気」。いま、あなたは「本気」で向き合い、「本気」で取り組んでいますか？その本気は今だけの期間限定的なものになっていませんか？「本気」は必ず人に伝わります。一つ一つの出会いや機会（チャンス）を大切に、本気の心を全力の行動に変え、チャレンジしていきましょう！

NPO法人
チャレンジステージ
代表理事
山下　勇雄

スタッフ紹介

入職時期　2018・11
名　前　寺西　悠
担当部署　就労移行支援事業所　きょうばし　事務員

結婚を機に支え合いの世界へ

将来は人生に寄り添える支援者に

元々結婚する前は児童養護施設で働いていました。こちらは住み込み状態で、休日以外は敷地から出ないような生活だったのですが、結婚を機にライフスタイルを再考し、例えば子供ができても自分の生活が成り立つような安定した仕事をしたいと考え、きょうばしに応募しました。きょうばしは喫茶・給食・受託事業など、就職された先の活動に近い、より実践的な訓練ができて、それに即した支援ができるのが強みだと聞いていました。私は支援者として、対象者となる方の人生にずっと関わり続けられるような職を求めていたので、条件にぴったりだと思って興味を持ったのです。今は事務職ですが、将来的には前職で経験したことをふまえ、支援職にもチャレンジしたいと思います。今の仕事は、今後の糧となる契約や制度の細やかな業務なども学べるのでやりがいがあります。健やかに長く続けられたら嬉しいです。理想の支援者像は、退所されたあとでも、連絡相談を受けられる存在になりたいと思っています。

きょうばし　田中涼子

本当に信頼があって頼りがいのある事務の方です。ですから、産休でいなくなった時には改めて存在の大きさを感じました。また戻ってこられて、この1年半のブランクが無かったかのように周りとも良質なコミュニケーションをとられていて、やはり頼りがいがあると感じます。これからも一緒に励んでいきたいと思います。

社長・社員の「働くとは？仕事とは？」

株式会社濱口商會
代表取締役
濱口　仁司 氏

『恩送り』によって今の私あり

社員の為、お客様、世の為に尽くす意義

祖父が始めた会社で、昭和25年（1950年）創業となります。もともとこの会社を継ぐのだと理解していたのですが、大学卒業後はいったん銀行へ就職する事に致しました。しかし、その後、社長である父の体調が悪化したことで、銀行を退職して会社に入る決意をしたという次第です。まもなく父が亡くなりまして、いきなり社長に就任する事となります。銀行経験ゆえに資金関連の知識はあったのですが、その他はまったく白紙の状態でした。そのような私に対して、祖父の代から一緒に働いてくれている社員を始め、皆が一丸となって私を支えてくれました。今の私があるのは、その支えのお蔭です。思い出されるのは、父が亡くなった後のある飲み会の光景。長く貢献して頂いている難波さん、河原崎さんと3人で飲んでいた際、「何があっても俺らは社長を支えるんや」と言ってもらって、「すごく頑張らなあかん！」と心を強くした事をよく覚えています。祖父や父の、社員さんに対する誠意が自分に巡ってきたのかなと。こうして自分自身の事を考えてみても、社員の為、お客様、世の為に尽くす意義が本当に大きいものと、心に刻み込んでおります。

経営理念として、「**①お客様のため、世のため人のため　②チャレンジ精神　③社員の長所を伸ばす　④会社は家族**」を掲げています。実現しきれていない側面も多々ありますが、近づけるようにしていく努力は惜しみません。「どれだけ働きやすい環境を作れるか」が、私の仕事であり使命だと思っています。チャレンジするのは、とにかく面白そう、楽しそうという気持ちが大事です。前向きな仕事への取り組みが、鮮やかな成果を生むのだと思います。

https://www.hamaguchishokai.co.jp/

今月の利用者さん

成長を重ねた半年間

～更なる居場所づくりを目指して～

Hさん　利用開始：2020.9
訓練の担当部署：事務作業

きょうばし利用の理由は、様々な作業部署を通じて自分の特性がよく見えると思ったからです。半年利用してみて、支援員や他の利用者の皆さんが丁寧に対応してくれているので、コミュニケーションが取りやすいと感じます。担当支援者の田中さんは消極的な僕に歩み寄ってくれるので、僕からもアプローチしやすく、とても有り難いです。作業を通じて、自分は体を動かすよりもデスク系が合っていると感じました。コツコツ無心に積み重ねる作業が得意だと思います。また自分の気持ちを文章にするのが上手い！とも周りから言われます。

私は自分の受け身の部分が課題だと思っていますので、今後は意欲的に自分の出来る事を広げていきます。3年後は職場の方から仕事を任せて貰い、確かな自分の存在と居場所を確認しながら、周囲に良い影響を与えられる存在になりたいと思います。

支援者の声　きょうばし 就労支援員　田中涼子

自分の想いを文章として言葉に表すのがとても上手だと感じます。お客様に提出する書類には責任と使命が伴いますので、相手が読むと思うとすごく肩に力の入る部分があると思いますが、そうしたことも含めて訓練経験を重ねていって欲しいと思います。

ひと　関係機関様の「魅力びと」紹介

対話と寄り添いの支援に向けて

力を試せる機会の拡張を

大阪市（北部地域）
障害者就業・生活支援センター
http://fukspo.org/sienc/index.html

就業支援ワーカー　**川内田 和昭氏、美濃部 絵莉子氏**

障害者の就労に関する大阪市からの委託業務という事で活動をさせて頂いております。ここは毎年120人くらいの新規の利用登録がありまして、定着支援は300人超え。この地域はずば抜けて多いので、なかなか対応がままならず気難しい状況です。最近は精神・発達障害の方の相談と共に、コロナ禍という事もあってか学生さんの相談も多くあります。企業さんも求人が少なく、実習の受け入れは困難です。仕方ない事ですが、力を試せる機会が減ってしまっている事は大きな課題だと思います。今後も就労支援事業所さんと連携をしっかり取り、最適な環境を作っていきたいです。

〈登録利用者の方に対して〉

美濃部氏：勝手な思い込みで支援しないよう、対話を大切にしています。チャレンジ精神を常に持って前へ進んで欲しいですね。

川内田氏：利用者の方に見合った支援を取り入れていきたいです。利用者の方も自分をよく理解しながら、自分に合った就労との向き合いをして欲しいです。

コメント：寺村　肇
川内田さん、美濃部さんは、地域全体の事を考えてくれる素晴らしい人たちです。その分大変なことをお願いすることも多いのですが、今後とも仲良くして下さいね！

企業見学会

株式会社濱口商會様

https://www.hamaguchishokai.co.jp/

ライブ感に満ちた交流機会

人を、仕事を、自分を好きに

濱口社長のお話を真剣に拝聴

濱口商會　福田氏と濱口社長

濱口商會　難波氏

濱口社長のお話

最後はガッツポーズで記念撮影

今回は日頃大変お世話になっている和研工業株式会社　松下社長からのご紹介で、大阪市浪速区の株式会社濱口商會様にて企業見学会を開催させて頂きました。全員による自己紹介タイムに始まり、濱口社長から会社紹介を頂きました後、濱口商會職員で入社34年目の大ベテラン・営業部の難波　稔氏、5年目の同じく営業部の福田　純平氏、続けて濱口社長のお話をそれぞれ頂戴致しました。各質疑応答タイムでは、共感性の高い質問・アドバイス・感想が飛び交う充実の様相を呈しました。

難波氏は「仕事をする上で心がけていることは『3大好き』」であると述べられました。それは①人を好きになる、②仕事を好きになる、③自分を好きになるという内容です。これに対して福田氏は「入社の頃から聞いている3大好きは難しく感じる事も多いが、実践を続けてその良さを伝えられる存在になりたい」と感想を述べられました。また福田氏はお客様からの感謝のお言葉が何よりも嬉しいと語られ、「今後の目標は、お客様から自分のファンを作っていき、難波さんのような仕事を当たり前にこなせるようになりたい」と続けました。

濱口社長はお一人お一人の質問に対して、親身かつ丁寧にご回答をして頂きました。利用者の方も積極的に、またある意味では赤裸々に、自分自身の諸相を発表・質問されました。ライブ感に満ちた交流機会の効果を改めて深く実感した次第です。

コロナ禍の緊急事態宣言下にも関わらず細やかな配慮をして頂き、意義に満ちた素晴らしい見学会を頂戴致しました。濱口社長から「営業マン育成にとって非常に良い機会となりました。貴重な経験と機会を頂き、有り難いです！」とのお言葉を頂きましたが、こちらこそ感謝の気持ちで一杯です。本当に有り難うございました。

次回開催★３月　ヒグチ鋼管株式会社様　https://www.higuchikoukan.co.jp/

きょうばし OB・OG会

きょうばしの OB・OG がホッと安心する場所、帰れる場所。
個人が人として成長して学んでいける場。
それが、" 楽しむ、学ぶ、伝える " のコンセプトのもとに生まれた「Thyme（タイム）」です。

"はたらく"と向き合う機会に　～喜びや有難さの共有へ～

きょうばしのOBOG会「Thyme」主催の『はたらくについて考える会2021』は、障害者雇用の枠組みに限定せず、“はたらくとは何か？”というテーマを誰しもに共通する視点から考えることを目的としています。

企業経営者など総勢38名が集い、程よい緊張の中で始まった「Thyme」メンバーによるプレゼンでは、働ける喜びや有難さと真正面から向き合う姿が語られ、人が“はたらく”ことによって得られるチカラを参加者全員で共有できました。

後半の企業経営者らによるパネルディスカッションでは、“はたらく”という人生の大部分を占める活動と、その大きさゆえに曖昧にした部分を、会場からの声も交えながら、多方面から語り合う事ができました。

Thymeメンバーによる運営の一場面

誠幸運輸倉庫株式会社
ジェネラルマネージャー　山口勝己氏

株式会社バーテック
末松仁彦社長

和研工業株式会社　松下　弘社長のご発表

Thymeメンバー　川上さんの発表

Thymeメンバー　村木さんの発表